

探究型インターンシップ全体を通じて、生徒が成長したと思える点／やってよかったと思える点
生徒は大変生き生きと活動に参加していました。実際の企業等に行けた生徒、インタビューをした生徒の忘れられない体験となり、今後の人生に大きな影響を与えたいと思います。
プレゼンすることに慣れてきたこと
自分の将来・仕事についてより深く考えられるようになった。
「百聞は一見に如かず」やはり実際に体験できることは大切です。
経験ということに関して言うと、仕事(将来)を考え、経験する、発表、お礼状などが経験できたことは良かったと思う。
大人に向けて発表をしたこと、場数をふめたこと
将来の夢とマッチングしたところに行けた生徒にとってはすごくいい経験ができ、一層の動機付けになったと思います。
手厚くご指導いただいた企業が多く、充実したインターンシップになったと思います。高校生に仕事についてより多くのことを学んでもらいたいと、様々な工夫をしてくださり、企業側の熱意が感
軽い気持ちでなく、将来のことを考えて企業に行けた生徒は良い経験になったと思う。
高北のネームバリューがあるので、手厚く面倒見てもらえていると思う。
綿密なプログラムを組んでいただいた企業が多く、生徒にとっていい刺激になったと思う。
学校では学べないことを体験できる、たいへん貴重な機会であり、是非続けていったほうが良いと思います。これを機に学習に意欲的に取り組めるようになるといいなと思います。
直前ではあったが、教員が挨拶に回ることを事前に連絡してよかった。企業側の都合と合わせる
ことができた。
クラスの生徒の感想の中で、自分の学習意欲の向上につながったと書いてあった。
生徒が、これから成長したほうがいいと思う点／必要な機会など
もう少し元気よく挨拶をする。明るく気の利いたコミュニケーションをはかれるようにしてほしい
企業とのやりとりが上手くいっているかどうか、報告・連絡・相談を担当教員と積極的にしよう
この体験の後、ただ「なりたい気持ちが強くなった」だけで終わらないこと。これを大学選択や合格に向けてこれからの2年、1年毎、1ヶ月毎と目標を立てて日々努力を重ねられることが大切であ
発表も最初に比べるとうまくなっているのですが、内容をもっと深めること(やった内容の発表だ
けにとどまらない)。発表の仕方を工夫すること。
発表内容の向上、その結論を導くためのデータの選択・作成・根拠の確立
仕事の未来を考えると最後の内容が薄かった。
探究型インターンシップの運営面の課題や改善点、次年度への引継ぎ事項など
今年度何組かごとに担当の先生があったのは良かったと思います。あとから担当した生徒の所を巡
回してもよいのかと思いました。
一つの企業で何人もあずかって下さった方が、生徒がどこにいるかわからないや見られない生徒が
いると、少しばやいていらっやいました。同一の企業は近くになるとかが可能でしょうか？
外部参加者が受付開始の1時半よりかなり前に来場していたので、案内の時間をもっと遅くした方
がよいのではないかと思います。
担当が準備しなければいけない物が多く、授業を一時的につぶさなければならなかった。

<p>3日間のうちに企業に挨拶に赴く必要があると思いますが、それが直前の会議で決まりそこから各訪問先にアポを取りました。これはもっと早いうちにすべきだと思います。それに関連して事前指導は訪問する先生が担当できると良かったです。いろいろな面で連絡の効率が悪かったと思います。生徒の訪問先が決まってから訪問先ごとの事前指導までの期間に各先生に訪問先を選択してもらえると一番良い流れが作れるのでしょうか。間に合わなければ、せめて最後の事前指導だけでも。</p>
<p>全員が発表する機会をもつということはとても重要だと思いますが、全体的にもう少し短い時間で行う(50分×2コマ)ことは不可能か検討しても良いと思いました。</p>
<p>生徒が自分で連絡をとった企業へも、学校から連絡を入れた方が良い。(すごく怒られました。)</p>
<p>発表練習があった方が良かったのでは？</p>
<p>3日間なら3日間全員行って、自習の時間をなくしたい。</p>
<p>発表は2体は広さが丁度良かったが、1体は広すぎるうえに人が多く聞こえづらいうえに寒い。</p>
<p>学年でおこなう行事にしては、係に負担がかかりすぎていると思いました。対応がどうしても手薄になったりするため相手企業との連絡が行き違いになることもあると思います。今後も続けるのであれば、学校全体で企業の窓口になる分掌(担当)と実際に生徒を動かす学年の係の両方から取り組んだ方がいいかと思いました。また、対外的なことなので、先方とのつながり(高校卒業後その企業にすぐに就職するなど)が必要であれば今後も継続する意義があるとも思いました。</p>
<p>自分が開拓した企業に関しては、何をさせてよいかわからずトイレ掃除をさせている企業があったり、保護者の承諾書1枚で学校から正式な書類がなく、コロナで何かあったときの責任の所在がどこかきつく言われた企業もありました。</p>
<p>経済同友会経由の企業の方が学校の主旨を理解していただけているようで、インタビューや現場の説明など密度の濃いインターンシップになったと思うが、それ以外の企業では職場体験と同じ内容になっている印象をうけた。</p>
<p>インターンシップに行った本校生と同じ中学出身の人が通っていたということで、事前に、学校から連絡がほしかったと言われました。</p>
<p>生徒が自分で1からアポをとる企業については、初めて連絡する前に学校側から趣旨を伝える内容の資料をFAX等で送る必要があると感じました。生徒1人ではなく、教員が送ったほうがよいと思います。「生徒から連絡をするので検討しておいていただきたい」ということを添え、翌日以降に電話連絡をさせると良いと思います。</p>
<p>訪問先毎の事前指導については、できれば実際に訪問する予定の教員が行えると、それ以降の企業との連絡が係ではなく担当教員を窓口とできるので、係の負担も減らせると思います。当日の訪問や事後指導(礼状)も一貫して見られて、把握しやすいと思います。</p>
<p>企業への挨拶回りの事前連絡については、前日ではなく早めに行けるとよかったと思う。</p>